

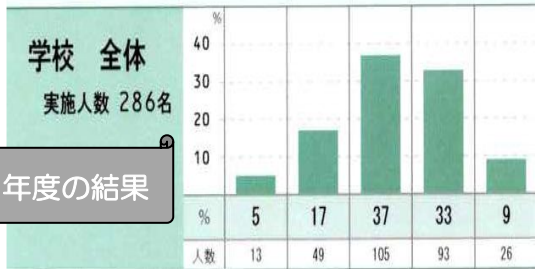


狛江市学習状況調査(NRT)の結果と考察

《R6 4/11 実施 NRT 全国標準学力調査》

令和6年度の結果

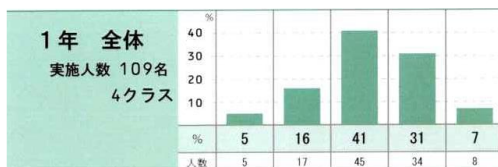
令和5年度の結果



ほとんど変化はありませんが、わずかに、成績上位の割合が増えています。つぎは、学年ごとの変化を見てみましょう。

《R5年度1年生》

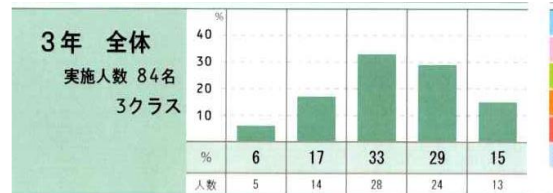
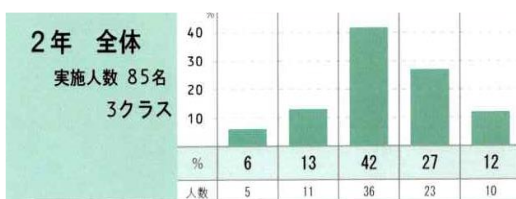
《R6年度2年生》



現在の2年生、わずかですが、上位層が厚くなったのが見えます。成長の度合いが見えます。

《R5年度2年生》

《R6年度3年生》



現在の3年生、中位層の生徒たちが上位層へ。下位層だった生徒たちも努力が実り、少しずつ前進している様子が見えます。

《現一年生の状況》



R5年度、R6年度の1年生と比較すると、ほとんど変わりなく見えますが、下位層が「厚い」のが課題になりそうです。今後の取組と成長に期待したいところです。

《総括》

学校全体としては全国平均を上回り、四中生は「優秀」であることがわかります。しかし、どの学年にも共通する課題が見えてきます。それは、①下位層の底上げ ②上位層の更なる充実です。学校としては、「授業が勝負」を合言葉に、毎時間の授業を充実させることを念頭に置くとともに、教科によっては単元テストの充実、そして自習室の開室等、今後も様々取り組んでまいります。

## 四中卒業生が6人制ラクロスの日本代表に！

平成28年度第37期卒業生の河合 寧々さんが、大学卒業後ラクロスの社会人チームに所属し、その活躍が認められ、ついに日本代表選手のユニフォームに袖を通すことになりました。四中時代は女子バスケットボール部に所属し、頑張っていたそうです。2028年ロサンゼルスオリンピックで追加競技として120年ぶりに復活するラクロス競技。これからも頑張って、ぜひオリンピックに出場してほしいですね。四中全体で応援しています！頑張ってください！！